

『教育学論叢』第1～34号総目次

創刊号 昭和58年12月

発刊の辞……………神 辺 靖 光

論 説

明治14年以前における公立中学校の教訓（1）

——明治7年～10年——……………神 辺 靖 光

図書館における教育思想の展開

——特に古典ローマ期の図書館思潮を基点にして——

……………草 野 正 名

私立学校法第5条第2項の意味……………長 峰 毅

地域教育計画に見られる新しい策定動向……………小 塚 三 郎

女性意識に関する一問題

——女子教育をめぐる——……………天 野 隆 雄

府県における中学校教則大綱準拠規則に関する

基礎的考察（1）

——埼玉県中学校模範規則と山口県中学校諸則——

……………四 方 一 洙

書 評

前野喜代治著『素顔の吉田松陰』……………小 倉 竹 治

第2号 昭和59年12月

論 説

当面する現代日本教育の検証と活性化……………大 類 純

改正教育令期における就学状況について

——生態学的教育史学の一試論として——……………多 賀 秋五郎

明治14年以前における公立中学校の教訓（2）

——明治11年～13年——……………神 辺 靖 光

日本文献の構造分析と心的状態について……………渡 辺 寿伝治

わが国の放送大学について（上）

——その創設経緯を中心として——……………磯 辺 武 雄

生徒指導の諸相考……………酒 井 保 一

第3号 昭和60年12月

ソクラテスの教育論 ……………永 島 輝 雄
 中国の中学校教育 ……………小 塚 三 郎
 「中学校教則大綱」学科課程の成立に関する一考察
 ——官立大阪中学校の発足とのかかわりからみた——

……………四 方 一 洸

西山哲治と帝国小学校 ……………小 倉 竹 治
 「小さな王国」とはなにか

——谷崎潤一郎と柳田国男を結ぶもの—— ……………藤 江 正 通

女子生徒の学習に関する諸問題 ……………天 野 隆 雄
 わが国の放送大学について（下）

——その現状と展望を中心として—— ……………磯 辺 武 雄

新著紹介・書評

小塚三郎著『教育の探求—吉見遠友共学会十年の歩み—』

……………天 野 隆 雄

長峰毅著『学校法人の私立学校』 ……………小 林 高 記

第 4 号 昭和61年12月

小林高記先生のご逝去を悼む ……………天 野 隆 雄

前野喜代治先生のご逝去を悼む ……………天 野 隆 雄

論 説

選択と忌避 ……………藤 江 正 通

管見・ソ連像の変遷 ……………大 類 純

高等女学校高等科・専攻科に関する一考察

——実態及び問題点を中心として—— ……………高 橋 次 義

女子教育論

——男子学生と女子学生の精神的健康度を中心に——

……………天 野 隆 雄

子供に対する読書指導の展開

——司書教諭・児童司書の専門性（教育性）に関連して——

……………草 野 正 名

時間評価における反復試行の効果について1 ……………折 原 茂 樹

第 5 号 昭和62年12月

“心の時代”を切り拓く教育の主役となれ

——教育学専攻学生への直言—— ……………小 塚 三 郎

ルソーの教育論	永島輝雄
現代中国の修正主義への変質の根源的原因	大類純
洋学教育の史的推移と幕末期における横浜の洋学教育(1)	田村茂
中学校教則大綱における「尊王愛国」と儒教主義についての一考察 ——府県準抛教則の教授要旨・教科書をとおしてみた——	四方一洙
子どもの読書を観る ——読書調査を通して——	戸田一雄
書評	
小倉竹治著『井上円了の思想』を読む	天野隆雄
第6号 昭和63年12月	
カントの教育論	永島輝雄
洋学教育の史的推移と幕末期における横浜の洋学教育(2)	田村茂
教育審議会による女子高等教育構想に関する考察 ——高等学校・大学を中心として——	高橋次義
わが国の学校放送の系譜に関する一考察(上) ——戦前を中心として——	磯辺武雄
戦後日本文学の出発 ——中野重治考——	大類純
時間評価と表象との関係について ——子どもと大人の比較——	折原茂樹
第7号 平成元年12月	
故大類純先生を偲んで	永島輝雄
エラスムス雑考	藤江正通
「中学校教則大綱」の施行と教員配置に関する一考察 ——山口県の事例を中心として——	四方一洙
わが国の学校放送の系譜に関する一考察(中) ——国民学校放送を中心として——	磯辺武雄
教師教育の基本構造について ——戦後の教員養成・教員免許制を中心に——	井原政純
大学生の出席と成績の関係について	天野隆雄

西ドイツの異文化問題・異文化教育

—西ドイツ教育調査報告— ……佐藤 義 雄

第 8 号 平成 2 年 12 月

温顔追慕 —多賀秋五郎先生を偲ぶ— ……天 野 隆 雄

十住心思想について (1) ……眞 柴 弘 宗

横浜修文館について ……田 村 茂

敗戦直後の男女共学の実状 その I

—富山県下における中等教育の体験を中心に—

……天 野 隆 雄

司書教諭および学校司書問題に関する教育学の考察

……草 野 正 名

ラファエル・ケーベルのこと ……藤 江 正 通

時間評価学習の転移に予備的研究 ……折 原 茂 樹

第 9 号 平成 3 年 12 月

永島輝雄先生のご逝去を悼む ……天 野 隆 雄

幕末期から明治期にかけての横浜における外国人宣教師の家塾

……田 村 茂

国立公文書館・東京都公文書館所蔵文書にみる戦前国士館の歴史 (2)

—諸学校の歴史— ……湯 川 次 義

敗戦直後の男女共学の実状 その II

—富山県下における中等教育の体験を中心に—

……天 野 隆 雄

レファレンス資料選択への一考察 I

—特に国語辞典について— ……戸 田 一 雄

dkar chag I Dan dkar ma 考 (I) ……原 田 寛

第 10 号 平成 4 年 12 月

十住心思想について (2) ……眞 柴 弘 宗

維新期、学校設立の基盤・背景について

—京都府、東京都の場合 (1)— ……井 原 政 純

敗戦直後の学区制の実態

—富山県下の高校を中心に見た— ……天 野 隆 雄

わが国の学校放送の系譜に関する一考察 (下)

——学校放送再開と新展開を中心として——	磯 辺 武 雄
計算課題を行ないつつ歩行を求めた際の生活時間評価に関する研究	折 原 茂 樹
dkar chag I Dan dkar ma考（Ⅱ）	原 田 寛

第 11 号 平成 5 年 12 月

長峰毅先生のご逝去を悼む	天 野 隆 雄
思考が目指す方向を定めるもの	木 阪 貴 行
中学校教則大綱期における中学校蔵書の実態に関する一考察	
——宮城中学校の場合について——	四 方 一 洙
日英女子教育の一接点	
——津田梅子と英国——	戸 田 一 雄
dkar chag I Dan dkar ma考（Ⅲ）	原 田 寛
Type Aと言語評価法を用いた時間評価について	
——色名呼称盤を用いて——	折 原 茂 樹

第 12 号 平成 6 年 12 月

松江藩儒桃節山『公私要記11』について（前）	
——解題・本文史料——	磯 辺 武 雄
中学校教則大綱準拠府県校則をとおしてみた「忠孝彝倫」教育についての一考察	四 方 一 洙
“エピクロスの園”への断章 ——“園”とはなにか——	
	藤 江 正 通
作用、対立、同時性 ——超越論的観念論研究（1）——	
	木 阪 貴 行
オーストラリアにおける先住民民族支援と大学開放	
——クィーンズランド工科大学の事例を中心として——	
	前 田 耕 司
オリンピズムと教育	深 川 長 郎

第 13 号 平成 7 年 12 月

巨星墜つ ——小倉竹治先生を偲ぶ——	天 野 隆 雄
旧鹿兒島藩・県の郷学校の一考察	
——川辺郷校の学制小学校への連動性について——	
	井 原 政 純

明治期における洋学教育の推移（１）	田村 茂
戦後高校の再編成	
——富山県における高校三原則と七・三教育——	
	……天野 隆雄
松江藩儒桃節山『公私要記11』について（後）	
——解題・本文史料——	磯辺 武雄
理性、身体、客観性 ——超越論的觀念論研究（２）——	
	……木阪 貴行
dkar chag I Dan dkar ma考（IV）	原田 覚
書 評	
『社会・地歴・公民科基礎論—教科指導の研究—』	
	……大森 弘

第 14 号 平成 8 年 12 月

富山県立高校と教育内容の変遷

——募集定数より見た——	天野 隆雄
松江藩儒桃白鹿『公記第二』について	
——解題・本文史料——	磯辺 武雄
E C の教育政策とドイツの連邦主義	佐藤 義雄
色名呼称盤を用いた時間評価と生活テンポについて	折原 茂樹

第 15 号 平成 9 年 12 月

「中学校教則大綱」期における学科目の教授要旨と教科書についての一考察 ——記簿——

	四方 一洙
郷学校の資費調達に係わる一考察	
——布田郷学校にみる協救社支社の養豚策——	
	……井原 政純
明治期における洋学教育の推移（２）	田村 茂
松江藩儒桃白鹿『要記自安永 3 年午正月至明年未閏 12 月』について	
——解題・本文史料——	磯辺 武雄
書 評	
『高校教育の形成—富山県における高校三原則と七・三教育—』	
	……長田 三男
『薩摩の歴史探訪—（１）中世史の分野から・（２）郷中教育について—』	
	……鮫島 重俊

第 16 号 平成10年12月

- 巨星去る —— 田村 茂教授の定年ご退職を惜しむ——
 ……天 野 隆 雄
 田村 茂先生への数多い思い出 ……井 原 政 純
 田村 茂教授業績一覧
 1920年代の帝国議会における女子高等教育論議
 —— 建議と質問を中心として—— ……湯 川 次 義
 登校拒否試論 —— その背景と対応をめぐる——
 ……天 野 隆 雄
 国際理解教育研究の視点 ……佐 藤 義 雄
 オリンピックの現実と教育的意義についての一考察
 ……深 川 長 郎

書 評

- 『横浜の学校建築——その変遷——』 ……磯 辺 武 雄

第 17 号 平成11年12月

- 川村 幹教授の定年ご退職に当たって ……枝 村 亮 一
 川村 幹教授業績一覧
 「中学校教則大綱」府県準拠校則・教則
 「教科書表」にみる教科書一覧（1）
 —— 初等科 修身・和漢文・英語・算術・代数・幾何・地理——
 ……四 方 一 洵
 鹿児島藩の学制改革と静岡藩からの影響
 ——（2）「本学校—小学校・郷校の制」を中心に——
 ……井 原 政 純
 我が国における女子への大学の門戸開放
 —— 1918年以降の生徒としての開放—— ……湯 川 次 義
 現代の思春期における匿名的表現の意味について
 —— 生活空間の匿名化、無力感の問題とのかかわりで——
 ……村 上 純 一

書 評

- 『わが国の学校放送史の研究』 ……天 野 隆 雄

第 18 号 平成12年12月

- 四方一洵教授と真摯な研究・指導姿勢 ……深 川 長 郎

井原先生と定年ご退職にあたって……………佐藤義雄
四方一洙教授業績一覧

井原政純教授業績一覧

「中学校教則大綱」府県準拠教則「教科書表」にみる教科書一覧（2）

——初等科 歴史・生理・動物・植物・物理・化学・経済・記簿・習字・図画——

——高等科 修身・和漢文・英語・三角法・金石・物理・化学・記簿・本邦法令・図画——

……………四方一洙

新史料・松江藩儒桃節山『日誌』について（上）

——解題と本文史料——……………磯辺武雄

回復期における登校拒否（不登校）児

——再登校への途をさぐる——……………天野隆雄

食事・喫煙・運動に関するセルフエフィカシー尺度作成の試み

……………折原茂樹

書評

『わが国における近代小学校の成立過程——鹿児島県の郷校・小学校の研究——』……………磯辺武雄

『生と死から学ぶ デス・スタディーズ入門』……………村上純一

第19号 平成13年12月

新史料・松江藩儒桃節山『日誌』について（下）

——解題と本文史料——……………磯辺武雄

デュルケイムにおける教育の「総合」的視座についての一考察

——その「人間的教育」の意味をしおして——……………栗栖淳

登校拒否（不登校）とその背景……………天野隆雄

時間評価と不安について……………折原茂樹

書評

『ジョン・デュイ「学校と社会」』世界新教育運動選書10

……………村上寿三生

『旧松江藩儒 桃節山日記 公私要記1』……………井原政純

第20号 平成14年12月

一陣の涼風を残して——深川長郎教授の定年ご退職を惜しむ——

……………天野隆雄

深川長郎教授業績一覧

松江藩儒桃節山『公私要記2』について（1）

- 解題・本文史料—— ……………磯 辺 武 雄
私論・家庭内暴力をどうとらえ、どうとりくむか
……………天 野 隆 雄
- 「学制」期再考（試論）
——明治初期の教員養成構想とその変容を通して——
……………橋 本 太 朗
P D S 機能から見たやる気尺度（PDS-Mスケール）の開発
……………西 野 泰 広
- 第 21 号** 平成15年12月
天野隆雄教授の定年ご退職にあたって……………磯 辺 武 雄
天野隆雄教授業績一覧
松江藩儒桃節山『公私要記2』について（2）
——解題・本文史料—— ……………磯 辺 武 雄
大学卒フリーターの職業的自立をめぐる残された二つの論点
——正規雇用への移行と脱スキル現象—— ……………村 上 純 一
時間評価と想像活動に対する視覚刺激からの規定性について
……………折 原 茂 樹
P D S 機能から見た E Q 尺度（EQNスケール）の開発
……………西野泰広 松田浩平 寺門正顕
ドイツにおける異文化間教育に関する一考察
——地域社会における教育（学習）活動の視点から——
……………帆 足 哲 哉
- 第 22 号** 平成16年12月
イギリス求職者手当導入下でのジョブセンター職員の新たな役割
……………村 上 純 一
大学における「ミッション」の問題についての一考察
……………栗 栖 淳
小学校中学年における「チャレンジ運動」の授業分析
——子どもの肯定的な人間関係の向上をめざした体育授業実践——
……………細 越 淳 二
- 第 23 号** 平成17年12月
毛利陽太郎教授の定年ご退職にあたって……………村 上 純 一

毛利陽太郎教授業績一覧

松江藩儒桃節山『公私要記2』について(3)

- 解題・本文史料—— ……………磯 辺 武 雄
日本の学校経営の特色 ……………佐 藤 義 雄
「教育に関する調査統計の読み方」考
——「学校基本調査」における「不登校児童生徒」の検討を中心として——
……………折原茂樹 大野高志 山崎真之 雨森雅哉 白井清太郎

第 24 号 平成18年12月

松江藩儒桃節山『公私要記 3』について(4)

- 解題・本文史料—— ……………磯 辺 武 雄
P D S 機能から見た良いスポーツチームの心理的特性Ⅱ
……………西野泰広 松田浩平 寺門正顕
小森愛子 雨森雅哉
P D S 機能から見た戸外遊びの母子・仲間相互交渉のマイクロ分析
……………渋谷キミエ 西野泰広
変動期におけるモンゴルの教育の現状と課題
—— 初等・中等教育を中心として—— ……………B. ヒシグデルゲル

第 25 号 平成20年2月

松江藩儒桃節山『公私要記 3』について(1)

- 解題・本文史料—— ……………磯 辺 武 雄
「剣道科」及び「柔道科」における中等教員無試験検定取り扱いの認定過程
について —— 国士館専門学校を事例として——
……………山 崎 真 之
P D S 機能から見た良いスポーツチームの心理的特性Ⅱ
……………西野泰広 松田浩平 寺門正顕
小森愛子 雨森雅哉
体育授業中の学習者行動についての研究
—— 特に、授業中に生起する「もめごと」に着目して——
……………細 越 淳 二

第 26 号 平成21年2月

松江藩儒桃節山『公私要記 3』について(2)

- 解題・本文史料—— ……………磯 辺 武 雄

無試験検定許可学校における教育実習に関する基礎的研究	
——参観視察について——	……………山崎真之
PDS機能から見た戸外遊びの母子・仲間の相互交渉のマイクロ分析Ⅱ	
——四歳児を中心にして——	……………渋谷キミエ
構成的グループエンカウンターによる「教育相談」の授業効果の検討	
	……………西野泰広 松田浩平 寺門正顕
	……………市川優一郎 雨森雅哉 小森愛子
PDS機能から見た良いスポーツチームの心理的特性Ⅲ	
	……………西野泰広 松田浩平 寺門正顕
	……………小森愛子 雨森雅哉
予想時間に関する基礎的研究	
——歩行課題を用いて——	……………折原茂樹 白井清太郎
	……………大野高志

第 27 号 平成22年2月

橋本太朗教授の定年ご退職にあたって	……………磯辺武雄
橋本太朗教授業績一覧	……………磯辺武雄
明治初期府県の教員養成と「中学」	
——埼玉県の事例を中心として——	……………橋本太朗
松山藩儒桃節山『公私要記 3』について(3)	
—— 解題・本文史料——	……………磯辺武雄
ユングの8タイプの幼児画に対する学生のイメージ	
	……………西野泰広 雨森雅哉
	……………深澤太陽 北川大輔
PDS機能から見た戸外遊びの相互交渉過程のマイクロ分析Ⅲ	
——5・6歳児を中心に——	……………渋谷キミエ
時間的展望・健康意識変容への	
自記式「時間的展望熟慮質問表」の効果	……………折原茂樹
英国・西ヨークシャー・ハダーズフィールド滞在記	
	……………村上純一

第 28 号 平成23年2月

松山藩儒桃節山『公私要記 3』について(4)	
—— 解題・本文史料——	……………磯辺武雄

戦後日本におけるシティズンシップ教育と社会科教育

- ……………白 井 嘉 一
 〈書評〉『開放制目的教員養成論の探求』……………栗 栖 淳
 〈書評〉『教育実践学と教育方法論
 カリキュラム・教科指導・学力を教育実践から問い直す』
 ……………細 越 淳 二

第 29 号 平成24年2月

松江藩儒桃節山『公私要記 4』について(1)

- 解題・本文史料——……………磯 辺 武 雄
 幼児画は何を物語っているか?……………西野泰広 雨森雅哉
 運動技能水準下位児の学習行動についての検討
 ～学習行動と意識および技能成果の分析を通して～
 ……………大塚亮介 細越淳二
 小学校低・中学年の「多様な動きをつくる運動(遊び)」の授業モデル
 と学習成果の関係について

……………細越淳二 前橋 力 鱧永慎太郎
 佐野祐太 岡田晋平

小学校6年生における「ボール運動(ネット型)」の授業づくり

……………細越淳二 石田智久 高橋 剛

〈翻訳論文〉顧明遠「師範教育論」の思想と構造

……………白井嘉一 周長 蘭

〈研究ノート〉日本における株式会社立大学にかんする一考察

—新たな学習形態の導入などを手がかりとして—

……………栗 栖 淳

〈書評〉片山紀子 著『入門 生徒指導「生徒指導提要」をふまえた新しい生徒指導のあり方』……………鈴 木 裕 子

第 30 号 平成25年2月

松江藩儒桃節山『公私要記 4』について(2)

- 解題・本文史料——……………磯 辺 武 雄
 子どもの動きづくりに関する実践研究
 —T小学校の2年間の取り組みの結果から—
 ……………角張友哉 細越淳二

小学校におけるゴール型ゲームのゲームパフォーマンスの分析

- 一小学校3年生から6年生を対象に— ……阿部泰尚 中島大輔
細越淳二
- 時間管理能力の個人差に関する研究—時間と慣用的時間について
……………折原茂樹
- 第31号** 平成26年2月
- 磯辺武雄先生の定年退職にあたって ……折原茂樹
磯辺武雄先生業績一覧 ……折原茂樹
松江藩儒桃節山『公私要記 4』について(3)
—— 解題・本文史料—— ……磯辺武雄
幼児用PDSテストの開発 ……西野泰広 雨森雅哉
Development the Program of Anger Response in
Smart and Positive ways-Youth in School Settings.
……………桜井美加
- 柔道選手の短期間における主観的
コンディショニング評価の有用性の検討 ……江川陽介
時間評価とmental imageについて ……折原茂樹
- 第32号** 平成27年2月
- 折原茂樹先生のご逝去を悼む ……西野泰広
白井嘉一先生のご逝去を悼む ……武藤拓也
枝村亮一先生のご退職にあたって ……細越淳二
複線型発達モデルからみた身体・運動発達の諸相
……………西野泰広 雨森雅哉
「神経・筋統合不全」症例への対処事例の観察 ……江川陽介
子育て支援におけるアウトリーチの効用と課題 ……桜井美加
養護教諭の職務を表す用語の検討(第一報) ……鈴木裕子
＜書評＞白井嘉一 編著
『シティズンシップ教育の展望
ラグの思想とコア・カリキュラム』
……………村上純一
- 第33号** 平成28年3月
- 振動波エネルギーを転写した水(波動水)は身体の生理機能に影響を
与えるか? ……江川陽介 石塚慎也

- 大学生メンターによる中学生との人間関係構築に関する研究
 ……桜井美加
- 教育学的概念としての“Erlebnis”の独自性
 - “Erfahrung”との相違に着目して- ……助川晃洋
- 精神科学的教育学派における「教育的関係」論の発展的継承
 - 「第一世代／師」ノールから「第二世代／弟」
 フリットナーとボルノウへのみちすじで-
 ……助川晃洋
- 「小中一貫教育ならではの」学習指導実践による「確かな学力」の育成(その1)
 - 兵庫県神戸市立港島小・中学校(港島学園)の取り組みに関する事例的考察- ……助川晃洋
- 教員免許状更新講習必修領域「教育の最新事情」の授業実践
 - 第1領域「教職についての省察」の教材と受講者による授業評価の結果の公開- ……助川晃洋
- 養護教諭養成における臨床実習からの学生の学び
 ……鈴木裕子
- <研究ノート>
- 教師のためのリサーチ・リテラシー演習
 - 子どもの「主観的な幸福」にかかわるユニセフの国際調査データの解読をめぐって- ……助川晃洋
- 6・3・3制の理念とその成立経緯
 - 為政者の戦後教育史認識を乗り越えるために- ……助川晃洋
- <書評>
- 白井嘉一・金井香里編『学生と教師のための現代教育課程論とカリキュラム研究』成文堂、2012年 ……羽山裕子

第34号 平成29年2月

- ライフセーバーによる要救助者に対する救助訓練
 - 第1回日本ライフセービング協会シミュレーション審査会
 出場レポート- ……江川陽介
- ペッツェルトの超越論哲学的教育学における
 「教師-生徒-関係」に対する基本的視座
 - 「教育的関係」の原理的探究に向けて- ……助川晃洋

「教育的関係」としての世代関係に関する

ポストモダンの解釈

ーレンツェンの『子ども期の神話学』の場合ー ……助 川 晃 洋

入学者選抜段階における公立中高一貫校の学力要求

ー教育課程評価としての適性検査に着目してー ……助 川 晃 洋

授業研究の諸相

ー学術研究と現場実践の重層性ー ……助 川 晃 洋

道徳の教科化／「特別の教科 道徳」の成立過程

ー道徳教育の充実と改善に向けた

中央教育課程行政レベルでの議論の動向に着目してー

……………助 川 晃 洋

教科としての道徳／「特別の教科 道徳」の

教科書検定基準と評価方法の策定

ー教科指導としての道徳教育・授業実践の創造に向けてー

……………助 川 晃 洋

大学／教育学教育の〈哲学〉の随想的主題化

ー体験と省察に基づく若干の覚書ー ……助 川 晃 洋

〈講演記録〉

「確かな学力」を育成する方法としての小中一貫教育の可能性

ー義務教育の質保証の志向と

その実質化に資する授業・カリキュラムの実践ー

……………助 川 晃 洋